

原子力発電所等における開閉所等の電気設備の津波対策(一覧表)

別添2

事業者	発電所等	対策分類	具体的な津波対策	備考
北海道電力(株)	泊	緊急安全対策	○発電所全体 建屋出入口周辺の防潮壁の設置(平成25年度末まで) ○建屋内電源盤 非常用母線、遮断器等を設置するエリアの水密化向上対策(実施済み)および浸水対策の強化(平成25年度末まで)	(対策不要な設備) ○開閉所設備:275kV開閉所(T.P.+85m) ○変圧器:3号機用予備変圧器(T.P.+85m)
		外部電源信頼性確保	○開閉所設備 66kV開閉所を標高31m以上に移設(平成27年度中に完了予定) ○変圧器 66kV送電線から受電する1,2号機用予備変圧器を標高31m以上に移設(平成27年度中に完了予定) ○その他 3号機非常用母線から1,2号機非常用母線への給電ルートを追設(平成27年度中に完了予定)	
東北電力(株)	東通	緊急安全対策	○発電所全体 防潮堤の設置(平成25年度中) ○建屋内電源盤 建屋等の防水性向上対策(平成23年6月中) 建屋の扉水密性向上(平成25年度中)	
		外部電源信頼性確保	○開閉所設備 防潮壁の設置(平成25年度中) ○変圧器 防潮壁の設置(平成25年度中)	
	女川	緊急安全対策	○発電所全体 防潮堤の設置(平成24年4月中) ○建屋内電源盤 建屋等の防水性向上対策、建屋の扉水密性向上(平成25年度中)	
		外部電源信頼性確保	○開閉所設備 防潮壁の設置(平成25年度中) ○変圧器 防潮壁の設置(平成25年度中)	
東京電力(株)	柏崎刈羽	緊急安全対策	○発電所全体 海岸前面に防潮堤等の設置(平成25年度第1四半期頃(2年程度)) ○建屋内電源盤 原子炉建屋等の水密扉化(平成24年度下期頃) ○開閉所設備 開閉所(66kV、500kV)に防潮壁等の設置(平成24年度下期頃) ○変圧器 高起動変圧器に防潮壁等の設置(平成24年度下期頃) ○その他 緊急用高圧配電盤の新設、及び原子炉建屋内非常用高圧配電盤への常設ケーブルの布設(平成24年度上期頃)	(参考) ○開閉所設備:高台(T.P.+13.2m以上)に設置
		外部電源信頼性確保	追加なし(緊急安全対策による対応策により対応)	
中部電力(株)	浜岡	緊急安全対策	○発電所全体 防波壁の設置(平成25年度末) ○建屋内電源盤 原子炉建屋内浸水防止対策(平成23年5月末まで)	(対策不要な設備) ○開閉所設備:500kV開閉所(T.P.+25m)
		外部電源信頼性確保	○変圧器 500kV開閉所近傍の高台に変圧器を新設	
北陸電力(株)	志賀	緊急安全対策	○発電所全体 標高15mの防潮堤(発電所敷地西側(海側))、標高15mの防潮壁(取水槽及び放水槽廻り)の設置(2年程度) ○建屋内電源盤 6.9kV常用母線は標高15mの防潮堤、標高15mの防潮壁の設置(2年程度)により対応。 ○変圧器 標高11mに設置の変圧器は標高15mの防潮堤、標高15mの防潮壁の設置(2年程度)により対応。	(対策不要な設備) ○建屋内電源盤:6.9kV非常用母線(T.P.+21mの原子炉建屋内) ○開閉所設備:(T.P.+35m) ○変圧器:1号機の予備電源変圧器(T.P.+35m)
		外部電源信頼性確保	○変圧器 防潮堤・防潮壁以外の対策として、2号機は標高35mに新設する変圧器から標高21mの原子炉建屋内に設置の6.9kV非常用母線に直接供給(指示事項2の対策、2年程度)	

事業者	発電所等	対策分類	具体的な津波対策	備考
関西電力(株)	美浜	緊急安全対策	○発電所全体 防潮堤の設置(平成23年度中) ○建屋内電源盤 原子炉建屋の浸水防止対策(実施済)、原子炉建屋外扉等の水密化(平成24年度中)、メタラ室の浸水防止対策(対策済) ○その他 送電線の強化(長期検討課題)	
		外部電源信頼性確保	○建屋内電源盤 6.6kV安全系高圧母線の接続箱、バスダクト等の配置変更(3年程度) ○開閉所設備 77kV開閉設備のGIS化(3年程度) ○変圧器 77kV予備変圧器の屋内施設化(3年程度)	
	大飯	緊急安全対策	○発電所全体 防波堤のかさ上げ(平成25年度中) ○建屋内電源盤 原子炉建屋の浸水防止対策(実施済)、原子炉建屋外扉等の水密化(平成24年度中)、メタラ室の浸水防止対策(対策済) ○その他 送電線の強化(長期検討課題)	(対策不要な設備) ○開閉所設備:3,4号機用(T.P.+32m) ○変圧器:3,4号機用(T.P.+13.8m)
		外部電源信頼性確保	<1,2号機> ○建屋内電源盤 6.6kV安全系高圧母線の接続箱、バスダクト等の配置変更(3年程度) ○開閉所設備 77kV開閉設備の防油堤かさ上げ(1年程度) ○変圧器 77kV予備変圧器の防油堤かさ上げ(1年程度) <3,4号機> ○建屋内電源盤 6.6kV安全系高圧母線の接続箱、バスダクト等の配置変更(3年程度)	
	高浜	緊急安全対策	○発電所全体 防潮堤の設置(平成23年度中) ○建屋内電源盤 原子炉建屋の浸水防止対策(実施済)、原子炉建屋外扉等の水密化(平成24年度中)、メタラ室の浸水防止対策(対策済) ○その他 送電線の強化(長期検討課題)	(対策不要な設備) ○開閉所設備:(T.P.+15m) ○変圧器:(T.P.+15m)
		外部電源信頼性確保	○建屋内電源盤 6.6kV安全系高圧母線の接続箱、バスダクト等の配置変更(3年程度)	
中国電力(株)	島根	緊急安全対策	○発電所全体 防波壁の強化(2年程度) ○建物内電源盤 建物の浸水防止対策強化(平成24年度内目途)	(対策不要な設備) ○開閉所:(T.P.+15m以上)
		外部電源信頼性確保	○変圧器 防水壁の設置(1年程度) なお、対象は受電用変圧器のうちT.P.+8.5mに設置している変圧器	
四国電力(株)	伊方	緊急安全対策	○建屋内電源盤 安全系遮断器室のシール施工(実施済み)および浸水対策の強化(2~3年程度) ○その他 構外の高台(標高95m)から発電所構内に配電線を敷設(平成24年3月末まで)	(対策不要な設備) ○開閉所設備:500kV屋外開閉所(T.P.+84m)  (参考) ○発電所全体:緊急安全対策にて防潮堤等の設置は計画されていない。
		外部電源信頼性確保	○建屋内電源盤 非常用母線等受電設備の機器開口部の止水処置(シール)等(2~3年程度) ○開閉所設備 187kV屋内開閉所の建屋開口部の止水処置(シール)等(2~3年程度) ○変圧器 非常用母線に接続する変圧器の防水壁の設置等(2~3年程度)	

事業者	発電所等	対策分類	具体的な津波対策	備考
九州電力(株)	玄海	緊急安全対策	○建屋内電源盤 安全補機開閉器室の浸水防止対策(実施済み)、安全補機開閉器室等の浸水対策の強化(今後3年程度で完了予定)	(参考) ○発電所全体:緊急安全対策にて防潮堤等の設置は計画されていない。
		外部電源信頼性確保	○開閉所設備 玄海1.2号機予備変圧器用として海拔20m以上の高台に開閉装置を新設し、全号機の非常用母線に給電できるようにする。(平成25年度までに完了予定) ○変圧器 玄海1.2号機予備変圧器を海拔20m以上の高台に新設し、全号機の非常用母線に給電できるようにする。(平成25年度までに完了予定)	
	川内	緊急安全対策	○建屋内電源盤 安全補機開閉器室の浸水防止対策(実施済み)、安全補機開閉器室等の浸水対策の強化(今後3年程度で完了予定)	
		外部電源信頼性確保	○開閉所 考慮すべき浸水高さ(T.P.+12.2m)に対し、設置レベルがT.P.13.3mであり、対策は不要であるが、念のため開閉所の更新に合わせて、海拔20m以上の高台に新設し、全号機の非常用母線に給電できるようにする。(今後数年程度で完了予定) ○変圧器 考慮すべき浸水高さ(T.P.+12.2m)に対し、設置レベルがT.P.13.3mであり、対策は不要であるが、念のため予備変圧器の更新に合わせて、海拔20m以上の高台に新設し、全号機の非常用母線に給電できるようにする。(今後数年程度で完了予定)	
日本原子力発電(株)	東海第二	緊急安全対策	○建屋内電源盤 原子炉建屋貫通部等のシール施工(実施済) 原子炉建屋外壁扉等の水密化(平成24年9月頃まで)	(参考) ○開閉所設備:高台移設を検討。
		外部電源信頼性確保	○発電所全体 防潮堤の設置(3年程度) ○開閉所設備 防護壁の設置(1.5年程度) ○変圧器 防護壁の設置(1.5年程度)	
	敦賀	緊急安全対策	○建屋内電源盤 原子炉補助建屋貫通部等のシール施工(実施済) 原子炉補助建屋外壁扉等の水密化(平成24年9月頃まで)	
		外部電源信頼性確保	○発電所全体 防潮堤の設置(3年程度) ○開閉所設備 防護壁の設置(1.5年程度) ○変圧器 防護壁の設置(1.5年程度)	
電源開発(株)	大間	緊急安全対策	(現在、緊急安全対策の対象外。自主的な対応は実施)	(対策不要な設備) ○開閉所設備:500kV開閉所、66kV開閉所(T.P.+25m) ○変圧器:予備変圧器(T.P.+25m)
		外部電源信頼性確保	○建屋内電源盤 主建屋の外扉等の防水化(建設中に実施) ○変圧器 主建屋周りへの防潮壁の設置(建設中に実施)	

事業者	発電所等	対策分類	具体的な津波対策	備考	
(独)日本原子力 研究開発機構 (JAEA)	もんじゅ	緊急安全 対策	○その他 建屋扉の水密性向上(平成23年度末まで) 海水ポンプ周辺の防水壁補強(設置済みの補強:平成23年度末 まで)	(対策不要な設備) ○建屋内電源盤:(T.P.+29m以上) ○開閉所設備:(T.P.+31m) ○変圧器:起動変圧器(T.P.+21m)、予備 変圧器(T.P.+31m)	
		外部電源 信頼性確保	対策不要		
	東海再処理	緊急安全 対策	○建屋内電源盤 電源盤の密封措置(実施済) 高所への移設(H23年度中) ○その他 冷却水ポンプ等が設置されている部屋扉等へのシール加工(実 施済) 電源ケーブル等の整備(H23年度中)		
		外部電源 信頼性確保	○再処理施設全体 防潮堤の設置を検討。 ○受電設備 新設する受電設備を高所(標高20m以上)に設置(H25年度末ま で)。 既存の特別高圧受電設備の周囲に止水壁を設置(H24年度末ま で)。 ○再処理施設の各施設 水密扉の設置、給排気口の上部への移設、窓の封鎖を行うこと により、電気設備への津波の影響を防止。(H24年度末まで)		
日本原燃(株)	六ヶ所再処理	緊急安全 対策	対策不要		津波は想定されない(T.P.+55m) (明治三陸津波や昭和三陸津波での実 績:3~4.5m)
		外部電源 信頼性確保	対策不要		